与謝野町長
山添 藤真
（やまぞえ とうま）

小さくとも誇り高きまちを次代へ

明けましておめでとうございます。住民の皆様におかれましては、ご家族ご友人おそろいで輝かしい新春をお迎えになられましたこと、心からお喜び申し上げます。新たに迎えた本年も皆様とともにより豊かな与謝野町を築くことができるよう、全身全霊をかけて職責を果たしてまいります。

昨年は元日に能登半島地震が発生し、数多くの尊い命が失われるという悲惨な幕開けとなりました。被災地では今もなお厳しい環境の中で、生活を送っておられる方々がおられます。1日も早い復旧と復興が成し遂げられることを願っております。当日は、与謝野町においても震度3を観測し、津波注意報が発令され、岩滝小学校のグラウンドおよび周辺には、50台を超える車両が避難するという事態となりました。被害を受けることはありませんでしたが、町内では「災害」への意識が高まりました。

このような状況のもと、与謝野町役場では令和6年度のスローガンに掲げた「住民に寄り添うやさしいまちづくりの実現」に向けて、住民の皆様との対話と協働を通して、住民の皆様に寄り添い、人・環境・未来にやさしい政策を実行しております。特に、第2次与謝野町総合計画に掲げている「住民が主人公となるまち」を実現するために、「多様な主体による協働のまちづくり」を重視しており、指針に基づく地域との協働事業を積極的に展開しております。また、互いの多様性を尊重し認め合うことで、真に安心して暮らすことができる社会を実現するために、「多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会」を設置し、社会的マイノリティの権利擁護とまちづくりへの参画を促進するための議論を進めてきました。昨年の12月には、同性同士の婚姻が認められていない我が国において、自治体が独自に「パートナーシップ宣誓書受領証」を交付する制度を開始いたしました。

長年にわたり、関係機関とともに実現に向けて取り組んできた各種事業も進捗しております。新産業の創出分野では、民間事業者によって絹織物の原料となる絹糸を生産する事業への着手、他分野においても個性あふれる飲食店や店舗が開設されるなど、新たな経済活動の環境が形成されつつあります。医療や福祉の充実に向けては、子育て支援医療費助成の対象年齢を高校生相当年齢まで拡大するとともに認知症に特化した相談窓口を開設するなど、ライフステージに応じたきめ細かな事業を実施しております。また、旧桑飼小学校跡地には高齢者福祉施設が開設され、男山地域では府立看護学校の新たな校舎と寮の建設工事がいよいよ着手となるなど、関係者の皆様とともにハード面での充実も図ってまいりました。住民の皆様のご理解とご参画によって、与謝野町は確実により良いまちとなっています。心から感謝申し上げます。

本年におきましても全職員が一丸となり、小さくとも誇り高きまちを大きく育み、次代に継承していくために力を尽くしてまいりますので、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたり、本年がすべての住民の皆様にとって希望あふれる年となりますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

与謝野町議会議長
山﨑 良磨
（やまざき りょうま）

皆様に興味を持ってもらえる議会へ

令和7年、明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和6年4月に10代目与謝野町議会議長に選出いただき、多くの催しに参加させていただきました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行して2年目ということで、町内でもコロナ禍前と変わらない規模でさまざまな催しが行われ、多くの町民の皆様とお会いすることができ、個人的には大変充実した1年でした。

さて、世の中に目を向けて昨年を振り返りますと、元日早々に能登半島地震が起こり、年間を通しても泥沼化するウクライナとロシアの争い、パレスチナ危機が継続しており、経済面に目を向けても世界的な物価や人件費の高騰があり、激動の世の中を生きている実感のある1年でした。また、与謝野町におきましても、野田川地域の認定こども園の場所が決定されるなどの進展もございましたが、財政問題などが山積みされており、まだまだ予断を許さない状況と感じております。議会といたしましてはこのような状況に柔軟に対応するため、さまざまな取り組みを行っていきたいと考えております。役場職員の労的コストを削減したり、タイムリーに情報を取得するためのペーパーレス化、年明け早々には多様化するハラスメントを学ぶ研修会の開催、また、昨年は毎年行っている議会懇談会を初のカフェ方式で開催し、好評をいただいたところであります。町民の代表として選ばれた議会としてふさわしいと思っていただけるよう、今後も研鑽していくしだいです。どうか叱咤激励の程よろしくお願いいたします。

令和8年4月には、与謝野町の町長・議会議員選挙が執行されます。民主主義を守るためにもやはり多くの方に立候補をしていただき、手を挙げたら誰でもなれる議員ではなく、しっかりと町民の皆様の付託を得た議員が誕生することが望ましいと考えております。現在、当町議会では女性の方や40歳未満の若手が議員として存在しておらず、ほかの自治体から鑑みると少し寂しい事態になっております。多くの方が選挙に興味を持っていただけるように、我々議員も日々の活動に邁進していければと考えております。活動の件や町政のことで少しでもご興味がおありでしたら、気軽にお問い合せいただければ幸いに存じます。

最後に、さまざまな課題はありますが、いかなる時代においても町民の皆様と手を取り合いしっかりとお話をお聞きし、町政に反映することが議員の本分と考えております。多くの町民の皆様が町政に興味を持っていただき、与謝野町をより良い町とするために共に頑張っていきたい所存です。令和7年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

カフェ方式で開催した議会懇談会（知遊館）